

中小の海外販路開拓

現地バイヤーが支援

経産省

中小企業のモノづくりを海外のバイヤーやデザイナーがチーム一丸となつて後押しする販路開拓支援事業がスタートした。海外で売れる商品開

発を目指し経済産業省が実施するもので、フランスやドイツなどから6人の専門家が来日。26日に全国から選ばれた参加企業15社と都内で一堂に会

した(写真)。

中小企業の多くが海外市場に目を向ける一方、現地の生活様式に適していなかったり、技術の良さを十分発信できないなどデザインやブランド戦略で悩むケースが少なくない。今回の事業は各国市場の最前線にたつ「プロ」の視点で海外ニーズに合わせた商品開発が狙い。海外専門家は5月末



まで順次、支援先企業を訪れモノづくりの現場に触れたうえでデザイナーを提案。今秋までに試作品開発を開発し、2015年にドイツで開かれる世

界最大の消費財見本市に
出展する。

参加する四津川製作所(富山県高岡市)は、金属の鑄造技術を食器など生活用品に生かすことを目指している。手ぬぐいや浴衣染色のナカニ(堺市)は「手ぬぐい文化のない海外にどう形を変えて商品展開するか」に取り組むという。